

安全のために必ずお守りください。

警告

取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などの恐れがあります。

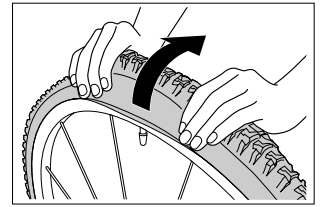
注意

空気圧は、200kPa/29psi ~ 400kPa/58psiの範囲で使用してください。タイヤの脱着は必ず手で行ってください。タイヤレバーやその他のツールを決して使用しないでください。タイヤとリムのエアシール部にダメージを与え、空気漏れを起こす恐れがあります。バルブナットを締めすぎるとバルブシールが変形して、空気漏れを起こす恐れがあります。

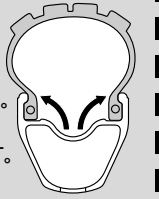
使用上の注意

タイヤがはめにくい時は、水あるいは石けん水を使用してすべりをよくしてください。通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。

最後に図のように両手でタイヤを握って、タイヤをリムに入れます。



空気を入れてタイヤのビードを図のようにリムにロックさせます。この後一度空気を抜いてビードがリムにロックされていることを確認し、再度使用される空気圧まで空気を入れてください。ビードがロックされていないと空気を抜いた時にビードがリムから外れます。(MAX: タイヤ空気圧 400kPa/58psi)



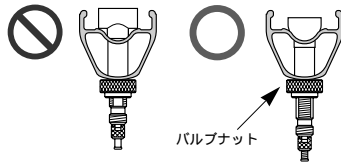
ご使用方法

SI-0036A

チューブレスタイヤの脱着方法

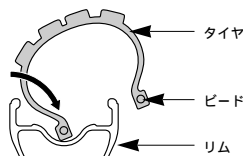
1. チューブレスバルブの装着

- 図のようにバルブの向きに注意して取付けてください。バルブナットを締め込んだ時にバルブとバルブナットが共回りしていない事を確認してください。

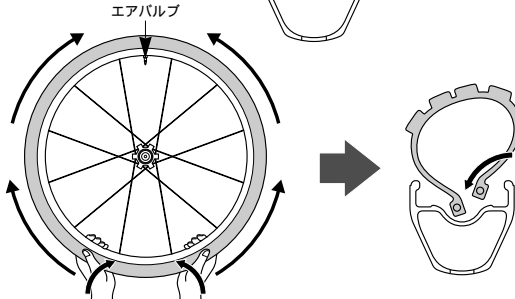


2. タイヤの装着

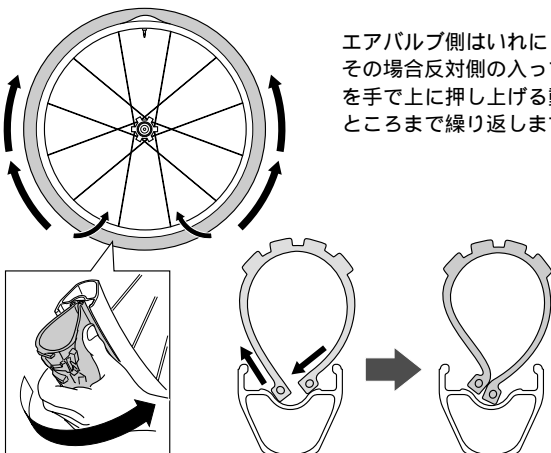
- 図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。この時、タイヤビード部、リム及びバルブ部にゴミや傷などが無い事を確認してください。



- エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットします。

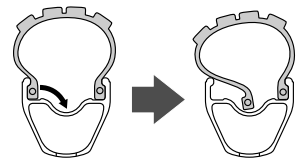


エアバルブ側はいれにくくなりますので、その場合反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところまで繰り返します。



3. タイヤの取り外し

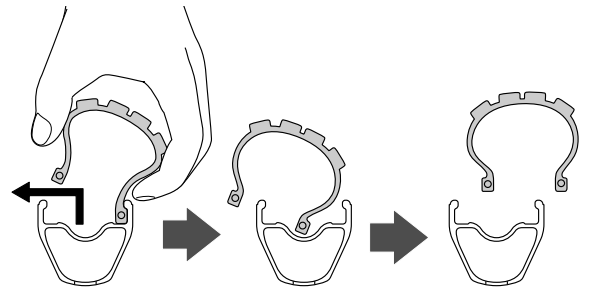
- タイヤの空気を抜いてから片方のビードを図のようにリムのハンブの内側の溝に落とし込ませます。



注意:

ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。両側を落とし込むとタイヤが外しにくくなります。両方落とし込んだ場合はもう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤの取り外しの最初の手順に戻ってください。

- エアバルブ側から片方のビードを取り外し、その後もう一方のビードを取り外します。



4. インナーチューブ使用時のご注意

- エアバルブのロックリングを緩め、エアバルブを外します。
- 図のようにタイヤの片方のビードをはめ込みます。
- リム外周部とタイヤビード部を充分に濡らし、少し膨らませたインナーチューブをタイヤの中にすべらせるように装着します。
- インナーチューブのエアバルブがリムに対応するかチェックしてください。
- エアバルブの反対側からビードをはめ込んでください。この時、チューブを挟まないように注意してください。必要であれば、石けん水をお使いください。
- タイヤがロックされるまでインナーチューブを膨らませてください。

インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しないでください。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などの恐れがあります。

対応チューブの仕様については認定店にご相談ください。



この取扱説明書は、再生紙を使用しています。製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577